

## ● 昭和村の誕生から

西暦

1927	昭和 2	11月23日野尻村・大芦村が合併し、昭和村の誕生 下中津川尋常高等小学校ができる、翌年新築
1929	4	世界恐慌が始まる
1930	5	大芦小学校改築
1931	6	満州事変起こる
1933	8	農産物豊作
1934	9	大凶作 野尻小学校改築
1935	10	御賜郷倉設置（小中津川）
1936	11	二・二六事件起こる
1937	12	日華事変始まる 喰丸小学校改築 物資不足になり、戦争体制すすむ
1939	14	野尻郵便局新築、電報・電信取扱開始される
1940	15	米穀供出制度、通帳による配給制が実施された 宮下駅が設置され、鉄道開始
1941	16	小学校は国民学校となる 太平洋戦争始まる 電話が開通する
1945	20	ガソリン不足から松根油掘りをする 太平洋戦争終戦 引揚者帰村始まる 食糧物資の不足 農地改革が始まる
1946	21	村内各地で開墾が進められる
1947	22	食糧の供出厳しくなる 六三制実施され、小学校、中学校ができる 農業協同組合が組織された キャスリン台風の被害を受けた
1948	23	県立川口高校昭和分校が開校
1949	24	昭和中学校校舎が新築 両原耕地整理事業を起工
1950	25	中向耕地整理事業を起工
1951	26	下中津川大火に見舞われる 5月3日127世帯罹災
1953	28	葉たばこ栽培を導入 テレビ放送開始
1955	30	木炭の生産が最盛期
1957	32	米作日本一競作会で酒井初佐氏反収4.9石余で県 第1位となる
1958	33	村民大会が開かれた 台風21～22号で洪水による大被害を受けた 佐倉耕地整理事業を起工
1959	34	大芦耕地整理事業を起工
1960	35	人口の流出激しくなる
1964	39	除雪用ブルドーザーを備える
1965	40	燃料革命がすすみ、木炭の生産激減 松山・野尻・中向に簡易水道が敷設される
1966	41	野尻地区で農業構造改善事業始まる
1968	43	福島県優良社会教育団体表彰 野尻婦人会

# 年表

1969	昭和 44	大洪水で大被害をうけ、災害救助法をうける 生活改善センター落成
1970	45	役場庁舎落成 駒止湿原が国の天然記念物に指定
1971	46	下中津川小学校、昭和中学校のプール落成 昭和村国民健康保険診療所開設
1972	47	野尻小学校プール落成 学校給食センター開設 広域消防昭和分遣所開設 林道柳沢線開通
1973	48	災害復旧竣工式 老人教養ホームしらかば荘落成 克雪管理センター落成
1974	49	林道不動沢線開通
1976	50	からむし織の製品開発始まる
1977	51	矢の原湿原が県の自然環境保全地域に指定される 県立川口高校昭和分校閉校
1980	55	喰丸峠トンネル開通 大芦、喰丸、下中津川、野尻の各小学校が統合し 昭和小学校となる
1981	56	大芦に簡易水道敷設 昭和保育所落成 田島～金山間が国道400号に昇格
1982	57	村営権現山スキー場完成 昭和村運動広場施設完成
1983	58	からむし会館落成 からむし織生産用具が県の有形民俗文化財に指定
1986	61	玉川溪谷が「ふくしまの水30選」に認定
1987	62	しらかば会館落成
1992	平成 4	昭和の森オープン 会津若松～南郷線が国道401号に昇格 舟鼻トンネル開通
1994	6	第一期からむし織体験生
1996	8	環境庁「日本の音風景100選」にからむしの機音 選ばれる
1997	9	過疎化地域の活性化で「国土庁長官賞」に選定 「田舎暮らしを楽しむ全国研究大会」開催
1999	11	特別養護老人ホーム「昭和ホーム」落成
2000	12	優良公民館文部大臣表彰受賞 旧喰丸峠のケヤキが林野庁「森の巨人たち100選」 に選定される
2001	13	毎日・地方自治大賞奨励賞受賞 からむし織の里整備事業「からむし工芸博物館」 「織姫交流館」落成